

確かに "学び" がある

けんひろ理学には未来で活きる





けんひろ理学療法学コースはここが違う！ 6つのポイント



4年間の流れ

豊かな教養と多職種連携の概観を含む専門領域の基礎を修得する

専門領域に必要な知識を修得し、専門性や多職種連携の実際を知る

専門領域の学びを深め、専門職として必要な主体性や探究心を培う

臨床実習や臨床課題に主体的に取り組み、専門職としての実践力を養う



1年次

地域包括ケアシステムを理解する科目

- チーム医療福祉論
- 保健福祉概論など

医学的基礎を理解する科目

- 解剖学概論
- 生理学概論
- 病理学など

専門領域特有の科目

- 理学療法学概論 I・II など

地域包括ケアシステムを理解する科目

- 地域包括ケアシステム論など
- 専門領域を理解するための基礎となる科目

専門領域特有の科目

- 理学療法学研究法
- 理学療法評価学演習 I
- 基礎臨床実習 I など

地域包括ケアシステムを理解する科目

- 保健医療福祉行政論
- ケアマネジメント論

専門領域特有の科目

- 骨関節障害理学療法学・演習
- 神経障害理学療法学・演習
- 内部障害理学療法学・演習
- 理学療法模擬患者演習
- 物理療法学演習
- 地域臨床実習
- 基礎臨床実習 II など

地域包括ケアシステムを理解する科目

- リーダーシップと協働
- チーム医療福祉演習

専門領域特有の科目

- 臨床理学療法学
- 総合臨床実習 I・II
- 理学療法クリニックリーズニング・演習など

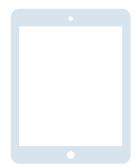
研究

- 地域課題解決研究
- 卒業研究

全学共通教育科目（大学基礎セミナー、ひろしま理解、地域教養ゼミナールなど）

01 県立広島大学だからできる !! 高度な人材育成

～自ら探究し、科学的根拠に基づいた実践が可能なリーダーへ～



実践的で充実した学修環境を有し、地域課題に取り組む本学だからこそできる高度な専門知識と技術に基づいた実践が可能な次世代の理学療法士を育てます。本学には大学院博士課程前期・後期も併設しているため、在学中の各ゼミでの研究に加え、卒業後に大学院へ進学してさらなる理学療法の専門性を高める学びの提供も可能です。



地域のニーズに根差した
実践的な学修機会の提供



附属診療センターを使用した
学内臨床教育の充実



最新の機器・設備を駆使した
高度医療に関する学修



夜間・休日開講等の卒業後働きながら
学べる大学院での専門性の探究

大学院パンフレット



講義紹介

義肢装具学、義肢装具学演習（長谷川正哉教授）



弹性包帯による圧迫



オンデマンド動画
による予習・復習

対面講義と演習による
理解（わかる）と
実践（できる）

オンラインツール
を用いた質疑応答

欠損した身体部位を補う「義肢」、低下した身体機能を補う「装具」に関する講義です。義肢装具のパーツや構造に関する知識、当事者に対する理学療法、義肢装具の使用方法などを学びます。この講義ではオンデマンド動画配信、対面講義と演習、オンラインツールを用いた質疑応答など、講義内容の理解と実践力の強化を目指した環境を整えています。



02 充実した学生生活

～縦・横・外との多彩なつながりと切磋琢磨できる環境～

様々な活動の中で多くのつながりを持った充実した学生生活を過ごしています。



先輩・後輩

サークル活動で障がい者スポーツを支援しています

クラスメイト

多くが必修科目なので高校のよう
にクラスメイトと一緒に学びます

他大学の仲間

日本理学療法学生協会の理事として
活動しています

三原キャンパスには様々なサークルがあり、コースを問わず先輩・後輩とつながることができます。また理学療法学コースでは、障がい者スポーツ支援ボランティア「アダプテッドスポーツクラブ(ASC)」を設立し、スポーツ大会を学生が企画・運営しています。ご参加の皆様が一緒に楽しめるイベント作りを目指しています。

ASCのFacebook



JPTSAは「繋～未来を彩るいまにトキメキを～」という目的のもと、全国の理学療法学生・社会人と交流できるイベントを企画・運営している学生団体です。多くの人の繋がりを得て、多様な分野について学び将来の選択肢を広げることができます。大学生活だけではできない経験もたくさんさせていただき、充実した学校生活を送っています。

JPTSA
公式サイト



柳原 凪陽さん
3年



2年次オリエンテーションにて初めての実習着（スクラブ）で集合写真を撮りました。けんひろ理学では、各学年とも約30名の学生および2名のチューターにて構成され、和気藹々、学生同士で切磋琢磨しながら、充実したキャンパスライフを送っています。



三代 莉夏さん

3年

けんひろ理学はクラスメイトの仲が良く、勉強も私生活も充実しています。

けんひろ理学の特徴は、約30人の少人数制で、男女問わず学生同士の仲が良い所です。そのため、気軽に相談し合える環境が整っており、互いに高め合いながら学修できます。また、理学キャンプや理学運動会といった理学全体でのイベントも活発で、先輩・後輩とも交流できます。勉強だけでなく、大学生活の中で青春も存分に楽しめるのが魅力です！

大学生活～夏休み＆春休みを満喫～

勉学やサークル活動に取り組みながら、アルバイトを通じて社会経験を積み、人とのつながりを広げています。仲間とともに成長し、長期休暇には旅行やイベントで思い切りリフレッシュ。学びと遊びの両方を楽しみ、充実した日々を過ごしています。



One of our days

授業



授業では実技を行なながら、実践的に学んでいます。

空きコマ



空きコマにはレポートや実技など、時に教員の先生に教わりながら取り組んでいます。

起床 7:00

8:00 通学

授業 9:00

12:10 お昼休み

空きコマ 14:40

16:20 授業

18:00 放課後

19:30 帰宅

23:30 就寝

お昼休み



お昼休みにはクラスメイトと和気藹々雑談しながら過ごしています。少人数制のため学生間・教員間も身近な関係です。



イベントでモチベUP!
学生オリジナルTシャツ作っちゃいました!

放課後・休日



放課後や休日にはクラスメイトと企画して運動会などのイベントを行うこともあります。



ゼミ・研究紹介

(西上智彦教授)

三原から世界へ!

多彩な留学プログラムと
豊富な経験による留学支援

西上ゼミでは「痛みのメカニズムの解明」、「痛みや痛みに伴う生活の質の低下の評価の開発」、「より痛みに有効なりハビリテーションの開発」を行っています。ゼミ活動は3年次の前期から始まります。痛みに関する授業は2年次にも実施しており、その知識も踏まえながら研究テーマを決めていきます。ゼミ生の目標は、研究とは何のためにするのかを感じるために、一通りの経験をすることです。また、オーストラリアへの留学経験があるため、留学の相談なども行っています。学生が希望すれば、大学院への進学相談※にも対応します。



西上ゼミでは、機器を使った痛みのメカニズムの解明や鏡を使った新しい痛みの評価やリハビリテーションの開発などを行っています。写真では、圧痛計を用いてどの程度の力で痛みを感じるか評価している様子です。ゼミでの活動では、臨床での疑問を実際に検証し、その結果をどのように臨床に活かせるかを考えるため、臨床における研究の重要性を実感できています。

西上ゼミ学生

研究内容例

痛みの過敏さの評価、運動イメージ能力と疼痛の関係、
疼痛に関連する質問表の開発、大学生の疼痛理解に関する調査

※本学では大学院博士課程前期・後期を併設しています。さらに理学療法の専門性を高めるべく、卒業後も一貫した専門教育の受講および研究を実施できる環境です。臨床で働きながら進学する卒業生も多くいます。

03 多様な分野を学べる質の高い臨床実習教育

～広島県内を中心に全国約150施設、卒業生が実習指導者に～



多くの卒業生が理学療法士として勤務しながら、実習指導者として後輩の指導にも携わっています。学内と学外の学びを相互に補完できるように実習指導者と密な連携を構築しています。



大学

臨床実習で新たに気づいた自身の長所や
課題を学内教育で伸ばすor克服する

学内教育および客観的臨床能力試験にて
発見した自身の得意・不得意を臨床実習で
伸ばすor克服する

学外実習施設



2年次

- 基礎臨床実習I(5日間) 8-9月

3年次

- 地域臨床実習(5日間) 11-12月
- 基礎臨床実習II(20日間) 2-3月

4年次

- 総合臨床実習I(35日間) 4-6月
- 総合臨床実習II(35日間) 6-8月

主な実習先

約150施設

県立広島病院・広島大学病院・マツダ株式会社マツダ病院・福山市民病院・興生総合病院・広島赤十字原爆病院・岡山大学病院・愛媛大学医学部附属病院・香川大学医学部附属病院・高知大学医学部附属病院・島根大学医学部附属病院・京都大学医学部附属病院・神戸市立医療センター中央市民病院・九州大学病院・九州労災病院など…

けんひろPT卒業後の縦の繋がり～実習指導や後進育成に～

本コースでは前身校の開学から四半世紀にわたり理学療法士を輩出しています。その卒業生たちが実習指導者として親身に本コースの学生の実習指導を担当してくれています。



県立広島病院



香川大学医学部附属病院



広島大学病院

04 国家試験合格率 100%

～確かな実績に基づいた国家試験対策サポート体制～



これまでの卒業生全員が国家試験に合格している確かな実績に基づいたノウハウのもと、カリキュラム化された国家試験対策講座と模試結果の詳細分析および個別サポートによりきめ細やかな国家試験対策を行っています。



中四国・九州の四年制大学にて唯一

5年連続 合格率 100%



これまでの卒業生全員が
国家試験に合格の実績

※前身である広島県立保健福祉大学卒業生(2003年)以降、2024年度卒業生まで673名全員が理学療法士国家試験に合格しています。

05 就職率 100%（開学以来）

～将来のキャリアを見据えた就職支援～



1年次からキャリア科目を開講し公務員対策講座やO B・O G就職ガイダンスなど充実したキャリアサポート体制を整えています。例年9割以上が1~2希望に就職し、また半数以上が公的病院（県・市職員・県病院・市民病院・大学病院など）へ就職しています。



教員による個別の履歴書添削・面接練習なども行っています。

2024年度の主な就職先

JA 広島総合病院・中国中央病院・島根県立中央病院・広島中央保健生活協同組合・兵庫県（理学療法士）(2)・坂出市役所（事務）・興生総合病院・マツダ病院(2)・広島大学病院・神戸市民病院機構・広島厚生病院・兵庫医科大学病院・国立病院機構 福山医療センター・香川大学医学部附属病院・浜脇整形外科病院・島根大学医学部附属病院・苑田会人工関節センター病院・浜松医科大学医学部附属病院・京都民医連中央病院・順天堂大学医学部附属順天堂病院・大阪府済生会泉尾病院など

卒業生からのメッセージ



県立広島病院で理学療法士として働き、急性期の様々な疾患の患者様のリハビリを担当しています。卒業生が多く、様々な知識や技術について優しく指導して頂いています。大学で学んだことを活かして様々な疾患に対応できる理学療法士として地域に貢献していきたいと思います。

西本 佑奈さん 理学療法学コース 2024年卒
(県立広島病院 理学療法士)



島根県の大学病院で、患者さんへのリハビリと研究活動、実習指導などに従事しています。また、本院ではけんひろPT卒の先輩方から様々な疾患に関する知識や技術を学ぶことができます。大学で学んだ医療従事者としての心構えとともに、患者さんの未来をカタチにできるようにこれからも努力していきます。

佐藤 慎也さん 理学療法学科 2014年卒
(島根大学医学部附属病院 理学療法士)

06

専門性豊かな教員による学修サポート

～チューター（担任）や科目担当、ゼミ教員による学修・研究指導～



コース長メッセージ



長谷川 正哉 教授

理学療法学コース（けんひろ PT）では、課題解決に必要な専門知識・技能と実践力を備えた理学療法士の育成を目指しています。少人数制の特長を活かし、現場で即戦力となる教育を重視しています。また、地域や他職種との連携を通じて、リーダーシップとフォロワーシップを養い、チーム医療の一員として活躍できる人材の育成にも力を入れています。さらに、学部から博士課程までの一貫した教育体制が整っており、基礎から応用まで幅広い研究に取り組むことができます。教員は専門性を活かし、社会課題の解決に向けた実践的な成果を発信しています。受験生の皆さん、けんひろ PT で、医療の未来を支える専門職への一歩を踏み出してみませんか？



飯田 忠行 教授

研究キーワード
レモン、骨密度、
ストレス、抑うつ、
アミューズメント



梅井 凡子 教授

研究キーワード

介護予防、理学療法、
生活習慣、生きがい、
地域包括ケア、フレイル



小野 武也 教授

研究キーワード

廃用症候群、
関節の柔軟性、関節拘縮、
生活不活発病



金井 秀作 教授

研究キーワード

動作観察、動作分析、
動作シミュレーション、
歩行分析



島谷 康司 教授

研究キーワード
発達科学、
特別支援教育、
人工知能、転倒予防



田中 聰 教授

研究キーワード

健康づくり支援、
予防理学療法、
運動器理学療法



西上 智彦 教授

研究キーワード

運動器疼痛、
がん性疼痛、中枢性感作、
身体知覚異常



高島 裕臣 准教授

研究キーワード

メンタルレキシコン、
心的語彙情報処理過程



積山 和加子 准教授

研究キーワード
地域包括ケアシステム、
予防理学療法、
内部障害



岡村 和典 講師

研究キーワード

スポーツ理学療法、
運動学、物理療法



金指 美帆 講師

研究キーワード

骨格筋、栄養、生活習
慣病、酸化ストレス、
Anti-aging



大古場 良太 助教

研究キーワード

姿勢制御、体性感覚、
知覚と運動、注意、
運動学習



佐藤 勇太 助教

研究キーワード
廃用症候群、関節拘縮、
介護予防、内部障害

